

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら大岡山

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	0	・1日の利用定員を設定し、超えないように確認しています。 ・お子様の活動内容に合わせて調整しています。	・フィードバックを待つ間に、スペースを共有するため安全管理を徹底します。
	② 職員の配置数は適切であるか	7	0	・各時間ごとに担当を分担し、担当外のスタッフも声掛け確認など連携を取っています。	・入退室のタイミングが重なった際、人手が足りなかったり一か所にスタッフが集まりすぎないようにしています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	3	・粗大運動と微細運動の部屋を分け、それぞれ視覚的な情報が少ないシンプルな空間を作っています。 ・スケジュールを絵カード等で提示している。	・マンション内の階段が狭く、降りてすぐ道路のため危険箇所となります。保護者様と一緒に降りるよう促しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	1	・日々、各部屋の定時清掃と空気の入替え、療育道具の清掃や手直しを行っています。	・支援室に限らず、共有スペースや保護者待機スペースも配慮してまいります。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	7	0	・朝礼、昼礼、終礼に状況共有を実施し、内容の記録を残しています。 ・スタッフ同士が話しやすい空間、雰囲気作りに努めています。	・議論にとどまらず、実態や成果の可視化を目指します。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	・保護者様からのご意見、ご要望をスタッフ間で共有し、可能な限り改善に努めています。	・保護者様からのご意見をお伺いする機会を増やしてまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・事業所向け自己評価の結果をホームページにて公開しております。	・評価の結果を踏まえて、改善に向けて努力してまいります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	・今期は実施しておりません。	・必要に応じて検討したいと思います。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	・定期的に各種マニュアルを基に研修を実施しています。 ・環境整備やお子様ごとの特性や配慮について意見交換の機会を設けています。	・日々の支援の中や外部の情報から気になった事例などを元に話し合う研修の機会を設けたいと思います。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・保護者の方からの要望や最近の様子を捉えるようにしています。 ・複数のスタッフで状況を確認し、相談しながら作成しています。	・お子様に関わる一人でも多くの人からのご意見を伺いたいと思います。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・実態の判断材料として標準化されたアセスメントツールを用いて確認しています。	・標準化されたアセスメントツールに加え、日々の記録や支援計画などを元にアセスメントを実施しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	・保護者からお子様のご様子の聞き取りとスタジオ内での様子を元に必要な支援を設定しています。	・より包括的な支援を検討してまいります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・目標に沿って楽しく活動できるようプログラムの立案をします。	・支援計画に限らず包括的な支援を目指します。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	4	・基本的に立案はその日の担当者だが、昼礼朝礼で共有し、その時々に合わせて意見交換をおこなっています。	・プログラム立案は個人で行っていることが多いですが、継続して欲しい取り組みなど日々共有しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・過去3か月の記録を元にプログラム立案を検討し、新しいプログラムも積極的に取り入れています。	・「目標」「狙い」に立ち返ってプログラムを練り直す時間を増やしてまいります。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7	0	・個別活動の中でも、集団参加のきっかけとなるような活動を立案しています。 ・あおぞら療育にて小集団の機会を設定しています。	・小集団実施時に課題や目標が偏らないようにプログラムバランスを調整しています。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・朝礼、昼礼に情報共有を行い、担当スタッフ間でさらに詳細について話し合いを行っています。	・直接支援者でないスタッフもバックアップ要員として役割分担に組み込んでいます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・気になったことや分からないことはその日のうちにスタッフに確認、共有しています。	・懸念事項など想像や予想も記録、共有してまいります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・誰が見ても分かりやすく具体的な内容に、継続などの引継ぎも明確に記録しています。	・記録の内容を職員全員が共有し、支援の方針を検討しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	2	・都度短期目標の段階と今の様子を確認し、半年毎にモニタリングを行い、支援計画を作り直しています。	・より詳細まで掘り下げてスタッフ間に共有できるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2	・相談支援事業所と保護者様と情報共有をおこない、支援に反映させることができました。	・より多くのスタッフが参画できるよう努めます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	・モニタリングを一定期間ごとに行い、最近の様子を共有しています。	・担当者との面談など、より効果的に連携を取れるよう方法を検討します。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7	・該当の利用児がおりません。	・必要に応じて対応致します。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7	・該当の利用児がおりません。	・必要に応じて対応致します。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・保護者さまのご要望に応じて、関連機関と情報を共有する機会を設けております。	・保護者様のご要望に応じて、各機関との情報共有を実施してまいります。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・保護者様のご要望に応じて、就学支援シートの作成など、そらでの様子や支援内容の情報共有を行っています。	・保護者様のご要望に応じて、各機関との情報共有を実施してまいります。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7	・今期は実施しておりません。	・保護者様のご要望に応じて、各機関との情報共有を実施してまいります。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	・今期は実施しておりません。	・今後、必要に応じて、交流の機会について検討してまいります。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	・地域の活動を知り、一部参加することができました。	・地域連携・自立支援の活動に多くのスタッフが参加できる体制づくりを検討してまいります。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・フィードバックと共に、家庭や園での様子などを積極的に伺います。 ・できるだけ保護者の方と話す機会を心掛けています。	・保護者様のご要望に応じて、面談の機会を増やしてまいります。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	7	・今期は実施しておりません。	・保護者様のご要望に応じて、ペアレントトレーニングや保護者会などの家族支援プログラムの実施について、検討してまいります。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	・契約時に確認させていただいております。	・ご希望をいただければ改めて内容のご説明をいたします。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	・ガイドラインに沿って作成、ご説明しております。	・ご同意をいただいた後に新たなご要望等があれば適宜対応いたします。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	・相談や質問に対して都度スタッフ間で共有を行い、その後の様子も聞き取りを行うよう対応に努めています。	・保護者様のご要望に応じて、面談の機会を増やしてまいります。

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	・今期は実施しておりません。	・保護者様のご要望に応じて、実施を検討してまいります。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	・利用時間内での対応が難しい案件には別途面談の実施を提案しています。	・より積極的に面談希望を申し出やすい環境を整えます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・会報をホームページと書面にて発信しています。 ・スタジオの空き情報やイベントなどをメールにてお知らせしています。	・より皆様の目に留まる発信方法を検討してまいります。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・目に触れる場所に名前などの個人情報が出ないよう配慮しています。	・フィードバックや外活動などでは、より会話の内容や声量に配慮いたします。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・仲介役として間に立ってサポートすることを心がけています。 ・お子様からのジェスチャーや表情等のサインを見逃さないようにしています。	・信頼関係の構築、視覚化など情報共有しやすい環境づくりに努めてまいります。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	・今期は実施しておりません。	・情勢と要望を鑑みて、交流イベント等を検討してまいります。
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	・定期的に訓練やマニュアル研修を実施しています。	・保護者様への周知方法を再検討いたします。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・火事・地震を想定した避難訓練を実施しています。	・訓練に限らず、日常的に防災意識を持つよう努めます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	2	・契約時に確認させていただいております。	・保護者様からの聞き取りにて契約以降の情報更新に努めます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	・食事提供が無い場合の支援では未対応ですが、食育イベント実施の際に確認させていただいております。	・必要に応じて確認し、お子様の情報更新をいたします。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・日々の終礼でヒヤリハットの内容を共有し、月毎に事例集を作成しています。	・事例集を元に再発防止の安全管理を再徹底します。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	・定期的に研修を実施し、意識向上につなげています。	・より現場を想定した研修内容を検討いたします。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	・契約時に身体拘束についてご説明しています。	・保護者様と相談の上、必要に応じて支援計画に記載いたします。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。